

# Panasonic

カラーテレビカメラ

## 取扱説明書

工事説明付き

品番 WV-CF35A／WV-CF36A

### もくじ

#### はじめに

商品概要.....	2
付属品をご確認ください.....	2
安全上のご注意.....	3
使用上のお願い.....	5
各部の名前とはたらき.....	6

#### 設定のしかた

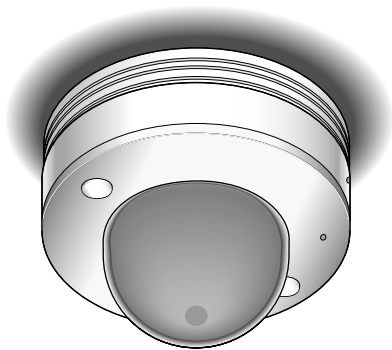
設定画面と基本操作.....	8
各種機能の設定.....	10

#### 工事説明

設置上のお願い.....	20
同軸ケーブルの接続のしかた.....	21
設置のしかた.....	24
接続のしかた.....	25
カメラアングルの調節.....	26
画角とフォーカス調節のしかた.....	27
カメラの微調節のしかた.....	28

#### その他

仕様.....	30
保証とアフターサービス.....	31



上手に使うって上手に節電

### 保証書別添付

このたびは、カラーテレビカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ・この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- ・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

はじめに

設定のしかた

工事説明

その他

## 商品概要

本機は、カメラを意識させないドーム型の屋内用カラーテレビカメラです。

- CCD部および信号処理回路にスーパーダイナミック2方式を採用し、従来カメラ比約64倍の高ダイナミックレンジを実現しました。明るい部分から暗い部分まで、より鮮明に撮影できます。
- マイクロホンの内蔵により、音声対応の電源ユニット（別売品）を接続すると、カメラ付近の音を聞くことができます。
- モニター出力端子付きです。
- カラービデオ受像機との接続は同軸ケーブル1本で行えます。
- 電子ズーム（最大2倍）機能により、画角の微調節ができます。
- WV-CF35A：カメラ設置時に、画角を自由に変えられるバリフォーカルレンズを採用しています。

WV-CF36A：広い範囲の撮影が可能な、広角レンズを採用しています。

## 付属品をご確認ください

BNCプラグ.....	1	取扱説明書（本書）.....	1
ドームカバー固定ねじ.....	1	保証書.....	1
天井加工用型紙.....	1		

※設置には、カメラ取付用ねじ（3本）が必要です。取付状況に応じて別途ご用意ください。

### ●別売品のご紹介 ※品番は、2002年7月現在のものです。

品名	品番
埋込型カメラ取付金具	WV-Q135
スモークドームカバー	WV-CF3S

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



## 警告

### 工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

### 異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちに電源を切ってから、販売店にご連絡ください。

## 警告

### 分解しない、改造しない



火災や感電の原因になります。

#### 分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

### 異常があるときは、 すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源を切ってから、販売店にご連絡ください。

### 重量に耐える場所に 取り付ける



取付場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などで、けがの原因となります。

- 取付場所を補強してください。

### 定期的に点検する



金具やねじがさびると、落下などでけがの原因となります。

- 点検は販売店に依頼してください。

# 使用上のお願い

## ● カメラを太陽に向けないでください

カメラを使用している、いないにかかわらず、レンズを太陽に向けないでください。

## ● 強い光を撮らないでください

画面の一部にスポット光のような強い光があると、ブルーミング\*<sub>1</sub>、スミア\*<sub>2</sub>を生じたり、CCD内部の色フィルターが劣化して、その部分が変色することがあります。

## ● 使用温度範囲を守ってください

使用温度範囲は、 $-10^{\circ}\text{C}$ ～ $+50^{\circ}\text{C}$ です。この範囲外での使用は、画質の低下や内部の部品に悪影響を与えますので避けてください。

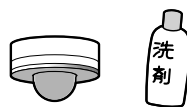
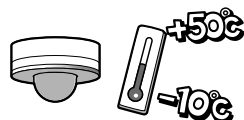
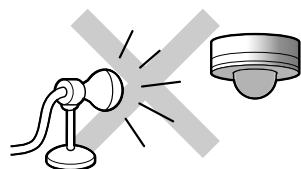
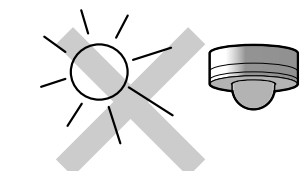
## ● カメラの外観が汚れたときは

電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。汚れが取れにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）をやわらかい布に浸み込ませ、よくしぼり軽くふいてください。その後、乾いた柔らかい布で洗剤成分を完全に拭き取ってください。

ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

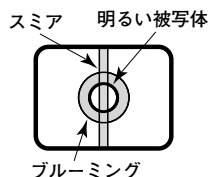
## ● レンズ・ドームカバーの清掃は

レンズクリーニングペーパー（眼鏡やカメラの清掃に使うもの）で行ってください。溶剤を使用する場合はアルコール類を使用し、ガラスクリーナーやシンナー系のものは使用しないでください。



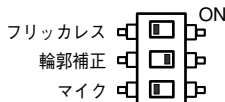
※1... ブルーミングとは、画面に映っている強い光の周りがにじむ現象。

※2... スミアとは、画面に映っている強い光の上下に縦縞が発生する現象。

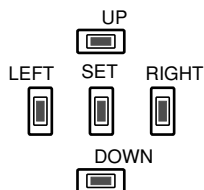


# 各部の名前とはたらき

- ①フリッカレススイッチ
- ②輪郭補正スイッチ
- ③マイクスイッチ

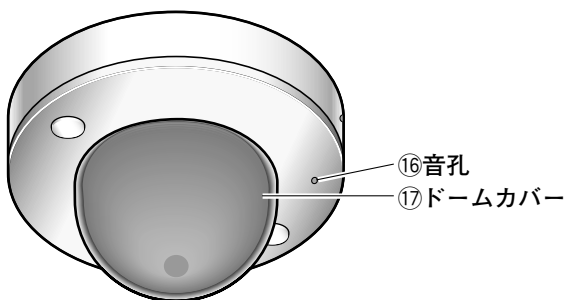


- ⑨機能設定用スイッチ



- ④接続端子
- ⑤同軸ケーブル固定金具
- ⑥ケーブル通線孔
- ⑦ズームリング
- ⑧フォーカスリング
- ⑩モニター出力ジャック
- ⑪パンテーブル
- ⑫チルトテーブル
- ⑬マイク部
- ⑭ドームカバー取付穴
- ⑮カメラヘッド

[ドームカバー取り外し状態]



- ① **フリッカレススイッチ** [フリッカレス]  
50 Hz地域の蛍光灯下で使用する場合、「入」にするとフリッカが少なくなります。

出荷時の設定は「切」です。

- ② **輪郭補正スイッチ** [輪郭補正]  
弱：ソフトな画質になります。  
強：シャープな画質になります。  
出荷時の設定は「強」です。

- ③ **マイクスイッチ** [マイク]  
音声対応の電源ユニット (WV-CM142,WV-CM148,WJ-430A,WV-PS154,WV-PS15) 使用時は、音声機能が使えます。内蔵マイクを使用する場合は「入」にします。  
出荷時の設定は「切」です。

#### お願い

カメラをWV-CM111,PS104A,PS11,AD110に接続して使用する場合は、必ず「切」にしてください。映像にノイズが入る場合があります。

- ④ **接続端子**  
⑤ **同軸ケーブル固定金具**  
⑥ **ケーブル通線孔**  
⑦ **ズームリング** [WV-CF35Aのみ]  
画角（視野角）の調節ができます。  
⑧ **フォーカスリング** [WV-CF35Aのみ]  
画のピントを合わせます。  
⑨ **機能設定用スイッチ**  
各種機能を設定するときに使用します (p.9ページ参照)。

- ⑩ **モニター出力ジャック**  
[モニター出力] (RCAジャック)  
画角、ピント調節時に使用します。  
ジャックをつめから外して、同軸ケーブルに接続します。  
同軸ケーブルの片側をビデオ受像機のカメラ入力端子に接続し、ビデオ受像機の電源を入れます。

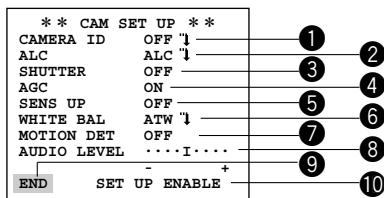
#### お願い

- 画角、ピント調節時の専用出力のため、その他の用途には使用しないでください。画面にノイズが入る場合があります。
- ジャック部分を無理にひっぱらないでください。破損の原因となります。

- ⑪ **パンテーブル**  
カメラの左・右方向の角度を調節します。  
⑫ **チルトテーブル**  
カメラの上・下方向の角度を調節します。  
⑬ **マイク部**  
⑭ **ドームカバー取付穴**  
⑮ **カメラヘッド**  
カメラの傾きを調節します。  
⑯ **音孔**  
⑰ **ドームカバー**  
カメラヘッドを保護します。  
ご使用前に保護シートをはがしてください。はがした後は、手で直接ドームを触らないでください。

# 設定画面と基本操作

本機は多くの機能を備えており、撮影場所の条件に合わせて設定することができます。設定操作は、必ず下記設定画面を表示してから行います。



【設定画面】

## ●設定画面について

設定画面上の各項目は、以下のことを表しています。また、設定項目の右側に矢印があるもの（例えば、**CAMERA ID** **OFF** ↓）は、詳細項目を設定する画面があることを表しています。

- ① **CAMERA ID** : カメラタイトルの設定項目（☞10ページ参照）
- ② **ALC** : 光量制御方式の設定項目（☞11ページ参照）
- ③ **SHUTTER** : シャッターの状態を表示します（下記参照）。
- ④ **AGC** : ゲインコントロールの設定項目（☞19ページ参照）
- ⑤ **SENS UP** : 電子感度アップの設定項目（☞13ページ参照）
- ⑥ **WHITE BAL** : ホワイトバランス方式の設定項目（☞14ページ参照）
- ⑦ **MOTION DET** : モーションディテクター機能の設定項目（☞16ページ参照）
- ⑧ **AUDIO LEVEL** : 内蔵マイクロホン音量の設定項目（☞19ページ参照）
- ⑨ **END** : 設定を終了し、通常の映像画面に戻ります。
- ⑩ **SET UP** : 設定モード。「**DISABLE**」と表示されている場合は、設定内容を変更できません（☞9ページ参照）。

## メモ

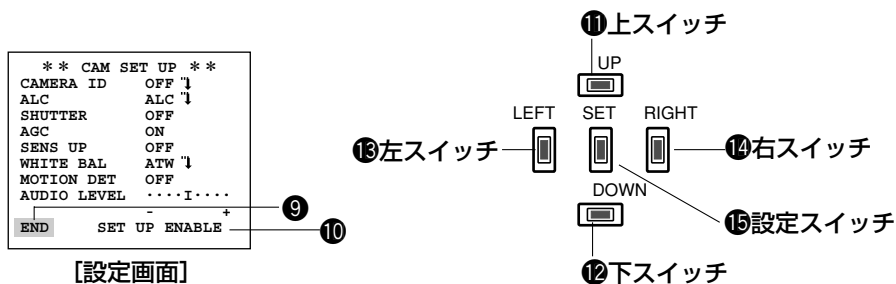
**SHUTTER**の状態表示③は、以下の内容が表示されます。シャッタースピードを設定することはできません。

フリッカレススイッチ「切」のとき : OFF

フリッカレススイッチ「入」のとき : 1/100



## ●設定を行うときの基本操作



1. [設定] スイッチ⑮を約2秒間押し続け、設定画面を表示します。
2. [上] スイッチ⑪または[下] スイッチ⑫を押してカーソル\*3を「END」⑨に合わせてから[右] スイッチ⑭を押し、「SET UP」⑩にカーソルを合わせます。
3. [設定] スイッチ⑮を押し、項目を「ENABLE」に切り換えます。これで設定が可能な状態になります。
4. 各種機能の設定を行います。(10～19ページ参照)
  - ①カーソルを設定したい項目に合わせるときは、[上] スイッチ⑪または[下] スイッチ⑫を押します。
  - ②カーソルを合わせた項目の設定内容を切り換えるときは、[左] スイッチ⑬または[右] スイッチ⑭を押します。
5. 設定画面から通常の映像画面に戻るときは、カーソルを「END」⑨に合わせ、[設定] スイッチ⑮を押します。

### メモ

本機では誤操作を防止するため、通常の映像画面から設定画面を表示すると、設定モードは必ず「DISABLE」になります。

**DISABLE** : 設定不可能な状態

**ENABLE** : 設定可能な状態

\*3... 本機設定画面上のカーソルとは、項目が反転表示している部分をいいます。

# 各種機能の設定

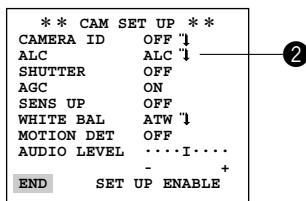
## ■カメラタイトル (CAMERA ID) を設定する

カメラの設置場所などを表すタイトルを作成し、画面上に表示します。



1. カーソルを「CAMERA ID」①に合わせ、[左]または[右]スイッチで「ON/OFF」を切り換えます（工場出荷時の設定は、OFFです）。  
ON : カメラタイトルを表示します（手順2へすすむ）。  
OFF : 表示しません。
2. カーソルを「CAMERA ID」①に合わせたままの状態ですべての文字を押し、タイトル作成画面を表示します。
3. [上][下][左][右]スイッチで表示したい文字にカーソルを合わせて [設定] スイッチを押し、タイトル（例：1F ドア）を作成します（最大16文字）。
  - ① 「1」にカーソルを合わせ、[設定] スイッチを押しします。
  - ② 「F」にカーソルを合わせ、[設定] スイッチを押しします。
  - ③ 「SPACE」にカーソルを合わせ、[設定] スイッチを押しします。
  - ④ 「KANJI」にカーソルを合わせて [設定] スイッチを押し、カタカナ入力画面を表示します。
  - ⑤ 「ト」にカーソルを合わせ、[設定] スイッチを押しします。
  - ⑥ 「」にカーソルを合わせ、[設定] スイッチを押しします。
  - ⑦ 「ア」にカーソルを合わせ、[設定] スイッチを押しします。
4. 文字を変更するときは、カーソルを作成領域の矢印(↑)⑬に合わせ、[左]または[右]スイッチで矢印(↑)⑬を変更する文字に合わせ再入力します。  
文字を全部消去するときは、「RESET」にカーソルを合わせ、[設定] スイッチを押しします。
5. 「POS1」にカーソルを合わせて [設定] スイッチを押し、表示位置設定画面を呼び出したら、[上][下][左][右]スイッチで画面に表示する位置を決めます。  
位置が決まったら再度 [設定] スイッチを押しします。
6. 設定画面に戻るときは「RET」、通常の映像画面に戻るときは「END」にカーソルを合わせ、[設定] スイッチを押しします。

## ■光量制御方式（ALC）を設定する



【設定画面】

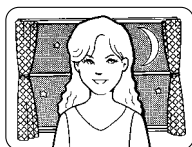
1. SUPER-D II の設定を行う場合は、下記をお読みください。

### ●SUPER-D II（スーパーダイナミック）機能とは

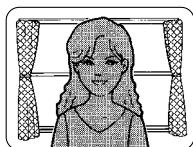
- 画面中央に被写体を映している場合、背景にスポットライトのような明るい照明があると、カメラは明るい部分に合わせて絞りを設定してしまうため、被写体が暗くなってしまいます。
- この現象を解消するために、本機ではスーパーダイナミック（SUPER-D II）方式を採用しています。この方式は、従来のカメラの約64倍のダイナミックレンジを確保できるため、逆光に対して効果的です。
- SUPER-D IIには、ONモード、OFFモードがあります。

【SUPER-D II 機能を働かせない場合】

夜間

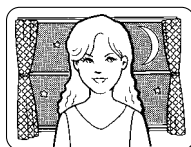


日中

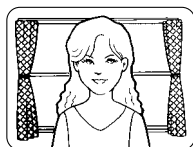


【SUPER-D II 機能を働かせた場合】

夜間



日中



### ●ONモード

常にSUPER-D II 機能を働かせます（工場出荷時設定）。

### ●OFFモード

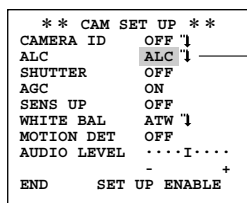
SUPER-D II 機能を停止します。この場合、手動で背景の明るい部分にマスクをかけ（隠し）、画面中央の被写体をはっきり映るように設定できます。

# 各種機能の設定

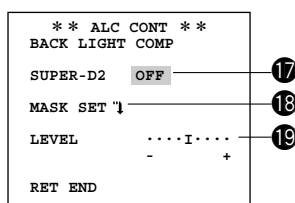
## メモ

- SUPER-D2をONモードにすると、次に示す項目の設定内容が制限されます。
- SENS UP : OFF,AUTOのみ切替可能
- SUPER-D2をONモードにして使用するときには、レベルを少し上げ気味に設定すると、より効果が得られます (13ページ、手順5参照)。ただし、レベルを上げすぎると、ちらつきやノイズなどが多くなる場合があります。
- 照明の条件によって、下記のような現象が見られるときは、OFFモードでご使用ください。
  - ①画面のちらつきや色の変化が生じる場合
  - ②画面上の明るい部分にノイズが生じる場合

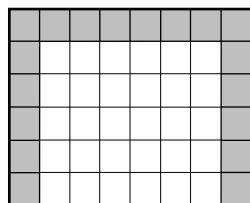
## ●SUPER-D II 機能を設定する



〔設定画面〕



〔SUPER-D II 設定画面〕



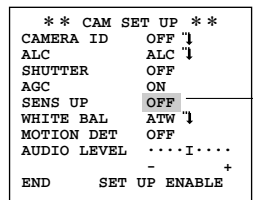
〔マスク設定画面〕

1. カーソルを「ALC」②に合わせて〔設定〕スイッチを押し、SUPER-D II 設定画面を表示します。
2. カーソルを「SUPER-D2」⑬に合わせ、〔左〕または〔右〕スイッチで「ON/OFF」を切り換えます (工場出荷時の設定は、ONです)。
  - ON : 常にSUPER-D II 機能を働かせます (13手順6へすすむ)。
  - OFF : SUPER-D II 機能を停止します (13手順3へすすむ)。
3. カーソルを「MASK SET」⑭に合わせて〔設定〕スイッチを押し、マスク設定画面を表示します。マスク設定画面では、画面を48区画に分割しており、左上の区画を点滅表示します。
4. 背景の明るい部分の区画にマスクをかけます。
  - ①画面上の点滅表示を、〔左〕または〔右〕スイッチでマスクをかけたい区画に合わせます。

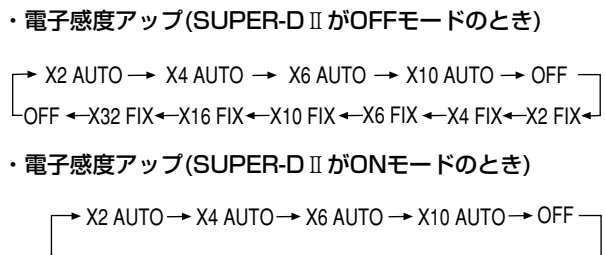
- ② [設定] スイッチを押し、マスクをかけます。マスクがかかっている区画に点滅表示があるときは、横縞と白の交互表示になります。他の区画に点滅表示があるときは、白くなります。
- ③手順②の操作を繰り返しマスクの設定が完了したら、[設定] スイッチを約2秒以上押し続け、「SUPER-D2」設定画面に戻ります。マスクの設定を取り消したいときは、その区画に点滅表示を合わせ、[設定] スイッチを押します。

5. 映像出力レベル（画像のコントラスト）を変更するときは、カーソルを「LEVEL」⑩に合わせ、[左] または [右] スイッチで調整します。手順2で「ON」に設定した場合は、レベルを上げすぎると、ちらつき、ノイズなどが多くなる場合があります。
6. 設定画面に戻るときは「RET」、通常の映像画面に戻るときは「END」にカーソルを合わせ、[設定] スイッチを押します。

## ■電子感度アップ (SENS UP) を設定する



[設定画面]



1. カーソルを「SENS UP」⑤に合わせ、[左] または [右] スイッチで電子感度アップを設定します（工場出荷時の設定は、OFFです）。SHUTTER 1/100のときは、AUTOの設定のみができます。

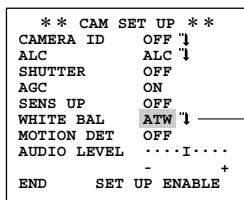
### メモ

- SENS UPのAUTOモードとSUPER-D2のONモードとを組み合わせる場合、SENS UP動作中はSUPER-D2の効果は得られません。
- SENS UPの倍率を上げると画面がざらついたり、白っぽくなったり、傷が現れる場合がありますが、異常ではありません。

# 各種機能の設定

## ■ホワイトバランス (WHITE BAL) を設定する

ホワイトバランスを調整する方式を設定します。



【設定画面】

- カーソルを「WHITE BAL」⑥に合わせ、[左] または [右] スイッチで「ATW/AWC」を切り換えます（工場出荷時の設定は、ATWです）。  
ATW：自動色温度追尾モード（手順2へすすむ）。  
AWC：自動ホワイトバランスコントロールモード（手順3へすすむ）。
- 「ATW」を選んだ場合は、カメラが光源の色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調整します（操作は必要ありません）。
- 「AWC」を選んだ場合は、表示が「ATW→PUSH SW」にかわるので、[設定] スイッチを押し、ホワイトバランスを調整します。  
調整中は「PUSH SW」が点滅表示になります。
- 「PUSH SW」の点滅が停止したらホワイトバランスの調整は終了です。  
[右] スイッチを押し、表示を「AWC」にします。
- ホワイトバランスの微調整をする場合は、次ページをお読みください。

### メモ

- 自動色温度追尾モード (ATW) の動作範囲は、約2 600 Kから6 000 Kです。色温度がこの範囲以外のときは、自動ホワイトバランスコントロールモード (AWC) にしてください。
- 下記の条件下では、自動色温度追尾モード (ATW) では色が忠実に再現できませんので、自動ホワイトバランスコントロールモード (AWC) にしてください。
  - 被写体の大部分が強烈的な色であるか、光源がぬけるような青空や夕暮れ時の太陽の場合
  - 被写体を照らす照明が暗いとき
- 自動ホワイトバランスコントロールモード (AWC) では、約2 300 Kから10 000 Kの間で適正なホワイトバランスが得られます。

## ●ホワイトバランスの微調整

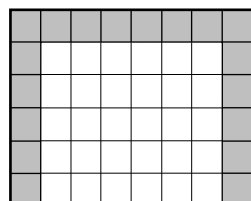
自動色温度追尾モード (ATW)、自動ホワイトバランスコントロールモード (AWC) でホワイトバランスを自動調整した後に、手動で微調整することができます。

```
** CAM SET UP **
CAMERA ID  OFF ↵
ALC         ALC ↵
SHUTTER    OFF
AGC        ON
SENS UP    OFF
WHITE BAL  ATW ↵
MOTION DET OFF
AUDIO LEVEL ····I····
END        SET UP ENABLE
```

【設定画面】

```
** ATW **
R   ····I···· ②0
   -          +
B   ····I···· ②1
   -          +
MASK SET ↵ ②2
RET END
```

【ATW,AWC微調整画面】



【マスク設定画面】

1. カーソルを「WHITE BAL」⑥に合わせて [設定] スイッチを押し、ATW, AWC微調整画面を表示します。
2. カーソルを「R」②0、「B」②1に合わせ、[左] または [右] スイッチで微調整します。  
Rは赤色、Bは青色を表しており、+方向に動かすと色が強く、-方向に動かすと色が弱くなります。
3. ATW,AWCの検出範囲を設定する場合は、下記をお読みください。
4. 設定画面に戻るときは「RET」、通常の映像画面に戻るときは「END」にカーソルを合わせ、[設定] スイッチを押します。

## ●ATW,AWC検出範囲の設定

ホワイトバランスは、画面上の色温度を自動的に検出し調整していますが、画面上に明るすぎる光源などがあると、正常に調整することができない場合があります。このようなときはSUPER-D II 機能の設定 (13ページ参照) と同様に、明るすぎる光源などにマスクをかけ、検出しないように設定することができます。

1. カーソルを「MASK SET」②2に合わせて [設定] スイッチを押し、マスク設定画面を表示します。
2. マスクをかけます。手順はSUPER-D II 機能の設定と同じです (12ページ手順4 参照)。

# 各種機能の設定

## ■モーションディテクター (MOTION DET) を設定する

動きを検出する条件を設定します。

### お願い

モーションディテクターの機能を使用するには、別途、アラーム機能を内蔵したコントローラーが必要です。

** CAM SET UP **	
CAMERA ID	OFF 1
ALC	ALC 1
SHUTTER	OFF
AGC	ON
SENS UP	OFF
WHITE BAL	ATW 1
MOTION DET	OFF
AUDIO LEVEL	.....I.....
END	SET UP ENABLE

【設定画面】

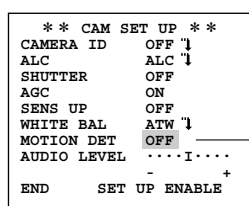
1. カーソルを「MOTION DET」⑦に合わせ、[左] または [右] スイッチで「ON/OFF」を切り換えます（工場出荷時の設定は、OFFです）。  
ON : モーションディテクター機能を働かせます。  
OFF : モーションディテクター機能を停止します。
2. モーションディテクター機能を働かせる場合は、レベルやデモモードで検出範囲を確認できます（[17,18ページ](#)参照）。

### モ

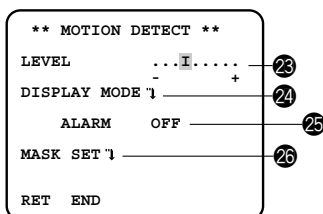
- 「MOTION DET」⑦を「ON」にすると、映像信号のブランキング期間にアラームデータを出力します。このため、ブランキング期間を使用する機器（タイムコードを使用するVTRなど）は誤動作します。したがって、ブランキング期間を使用する機器と組み合わせて使用するときは「MOTION DET」⑦を「OFF」にしてください。
- 蛍光灯下のフリッカのある被写体では誤動作する場合があります。
- 風に揺れる木の葉やカーテンなどを検出するときはMASK SETで検出エリアから除外してください。
- 低輝度下のノイズが多い条件では誤動作する場合がありますので、感度（LEVEL）を下げてください。また、車のヘッドライトや照明のON/OFFなどにより、被写体の照度が急激に変化する場合は誤検出することがあります。
- カメラが動きを検出してからVTRなどのアラーム端子までアラーム信号を送るのに約0.2秒の遅れがあります。
- この機能は盗難、火災などを防止するための専用装置ではありません。万一発生した事故や損害に対する責任は一切、負いかねます。



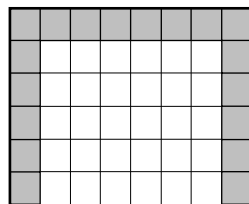
## ● 感知レベル、マスクの設定



【設定画面】



【動き検出設定画面】



【マスク設定画面】

1. カーソルを「**MOTION DET**」⑦に合わせ、[左] または [右] スイッチで「ON」にし、[設定] スイッチを押し、動き検出設定画面を表示します。
2. カーソルを「**MASK SET**」②⑥に合わせて [設定] スイッチを押し、マスク設定画面を表示します。
3. マスクをかけます。手順はSUPER-D II 機能の設定と同じです (12 ページ 手順4 参照)。
4. マスク範囲設定後、[設定] スイッチを2秒以上押し続けると動き検出設定画面に戻ります。  
デモモードでアラーム信号を出力するときは : 手順6へすすむ  
デモモードでアラーム信号を出力しないときは : 手順7へすすむ
6. 動きを感知したときの動作をデモモードで確認したいときは、カーソルを「**ALARM**」②⑤に合わせ、[左] または [右] スイッチで「ON」にします。

### × モ

次に示すコントローラーを使用している場合、「**ALARM**」②⑤を「ON」にすると、デモモードでアラームを検出したとき、コントローラーの仕様により設定画面を終了し通常画面に戻ります。

- 対象コントローラー：WV-CU161/WV-CU360/WV-CU550シリーズ,WV-RM70

7. カーソルを「**DISPLAY MODE**」②④に合わせて [設定] スイッチを押し、デモモードにします。48分割のマスク範囲が点滅し、輝度の変化を検出します。
8. カーソルを「**LEVEL**」②③に合わせ、[左] または [右] スイッチでカーソルを左右に動かし感知レベルを調整します。

手順2から手順8を繰り返して、最適のレベルに調整します。

9. 設定画面に戻るときは「**RET**」、通常の映像画面に戻るときは「**END**」にカーソルを合わせ、[設定] スイッチを押しします。

# 各種機能の設定

## ●モーションディテクター (MOTION DET) 機能とは

モーションディテクターをONにすることによって1/48ブロックごとに画面の動き（輝度変化）をとらえ、他の機器にアラーム信号を出力できます。例えば、動きを検出したときに、ビデオにアラーム信号送り録画を開始することができます。

### ●検出条件

- 被写体の大きさ : 動く物体は画面の1/48以上の大きさが必要。
- 被写体のコントラスト : 背景画像と動く物体のコントラスト比が5 %（最大感度設定時）以上必要。
- 被写体の動く速さ : 画面の端から端までを物体が通過する時間が0.1秒～0.8秒以上必要（コントラスト比5 %の場合）。これより速い物体は検出できません。

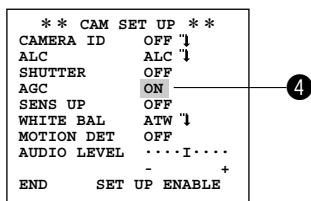
### メ モ

コントラスト比によって被写体の大きさや動く速さの制限は異なります（コントラスト比（明暗の差）が大きいと緩和されます）。

### ●デモモード

48分割した各ブロックの検出有無を画像で確認し、動きを感知する感度を調整したりマスク範囲を確認できます。

## ■ゲインコントロール（AGC）を設定する



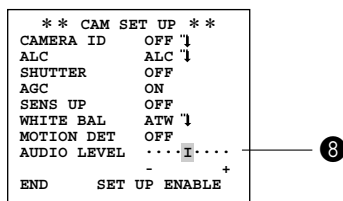
【設定画面】

1. カーソルを「AGC」④に合わせ、[左] または [右] スイッチで「ON/OFF」を切り換えます（工場出荷時の設定は、ONです）。

ON : 被写体の照度が暗くなると、自動的にゲインを上げ画面を明るくします。

OFF : ゲインを上げません（通常映像のまま）。

## ■内蔵マイクの音量（AUDIO LEVEL）を設定する



【設定画面】

1. カーソルを「AUDIO LEVEL」⑧に合わせ、[左] または [右] スイッチで音量を調整します。

+方向 : 音が大きくなります

-方向 : 音が小さくなります

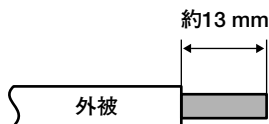
# 設置上のお願い

- **湿気やほこりの多い場所に設置しないでください**  
内部の部品がいたみやすくなり、故障の原因となることがあります。
- **落としたり、強い衝撃を与えないでください**  
故障の原因となることがあります。
- **騒音の高い場所は避けてください**  
エアコン、空気清浄器、自動販売機などの付近は、雑音の入る原因となります。
- **電波障害について**  
テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界の近く（モータやトランスなど）では、雑音や映像が曲がったりすることがあります。このような場合は、専用の薄電線管を設けてカメラケーブルを通線してください。
- **カメラケーブルは電灯線などに近づけて配線しないでください**  
雑音の入る原因となります。
- **ビデオ受像機と外部スピーカーは離して設置してください**  
ハウリングの起こる原因となります。
- **カメラ、ビデオ受像機間の最大延長距離は、500 mです。**  
(同軸ケーブル5C-2V使用時)
- **タイムラプスVTRへの録音の詳細は、タイムラプスVTRの取扱説明書をご参照ください（記録不可能な場合があります）。**

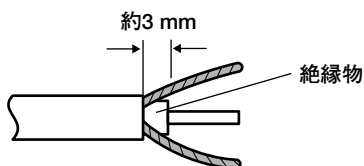
# 同軸ケーブルの接続のしかた

## ■カメラへの接続

必ず、電源を切った状態で行ってください。



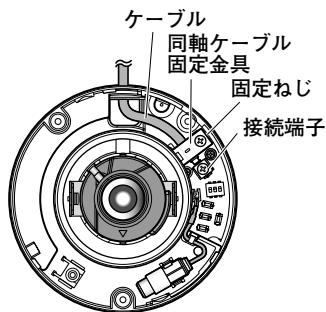
1. ケーブル外皮を約13 mm切り取ります。



2. 外皮の切り口より3 mmの所で絶縁物を切り取ります。

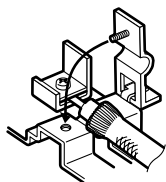
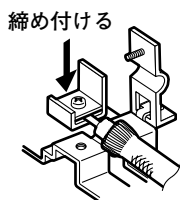
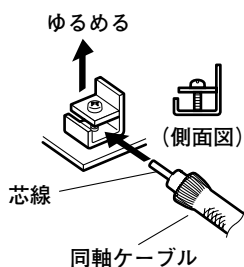
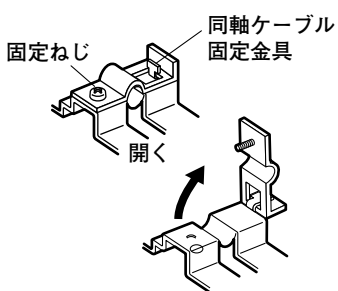


3. 偏祖線を外皮に被せます。



4. 本機の接続端子に接続します。

# 同軸ケーブルの接続のしかた



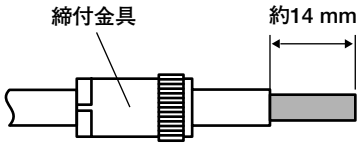
- ① 固定ねじを緩めて、同軸ケーブル固定金具を開きます。
  - 固定ねじは、同軸ケーブル固定金具に対して脱落防止になっています。

- ② 接続端子のねじを緩めて、同軸ケーブルの芯線を押し込みます。  
片側に隙間が空くまで緩めて、その隙間から芯線を押し込みます。  
※ねじを緩めすぎると、脱落する恐れがあります。

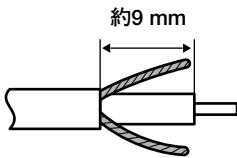
- ③ 接続端子のねじを締め付け、同軸ケーブルの芯線を固定します。

- ④ 同軸ケーブルの偏袒線部分を、同軸ケーブル固定金具のねじを締め付けて固定します。

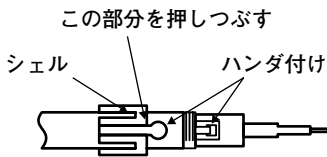
## ■BNC（カメラに付属）への接続



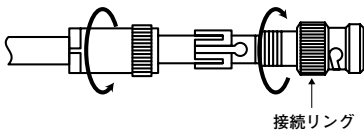
1. 締付金具をケーブルに通した後、ケーブル外被を約14 mm切り取ります。



2. 外被の切り口より約9 mmの所で絶縁物を切り取ります。



3. シールドを挿入し、シールドを適当な長さに切った後、ハンダ付けします。ハンダが固まったら、図の部分をケーブル外被に食い込ませます。



4. シールドに接続リングをねじ込んだ後、締付金具をスパナなどで固く締め付けます。

## ■同軸ケーブルの中継のしかた

- 同軸用中継接栓が必要です。



同軸用中継接栓

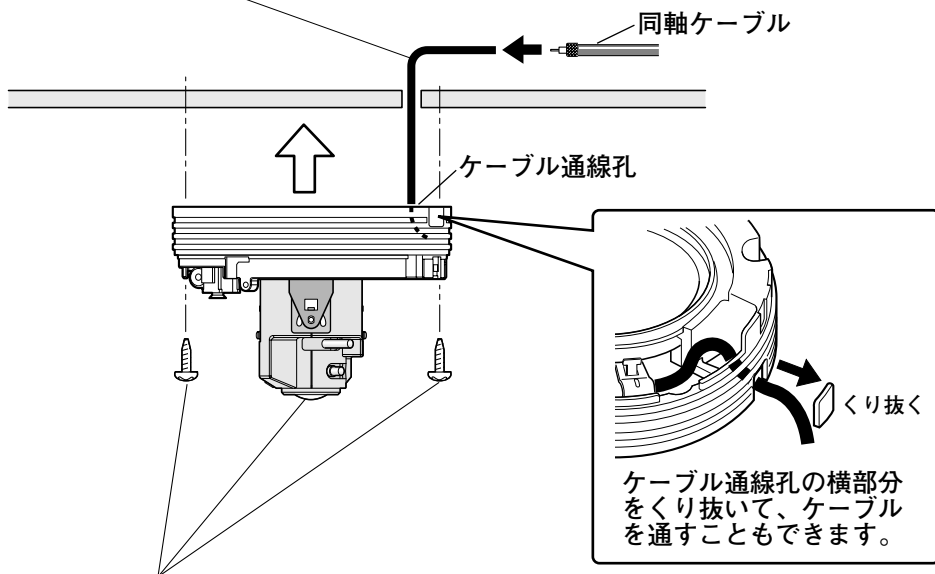
# 設置のしかた

## ■設置手順

### お願い

天井へのケーブル引込用の孔あけや、アンカーボルトの設置の際には、付属の天井加工用型紙をご使用ください。

### 1. 同軸ケーブルをカメラに取り付ける (☞21~22ページ参照)。

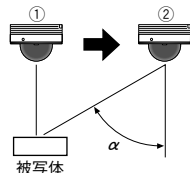


### 2. カメラ取付用ねじ(※)で天井や壁に固定する (3箇所)。

※カメラ取付用ねじは、取付状況に応じて別途ご用意ください。

### メモ

- 右図①のように被写体の真上に設置したとき、モニターと被写体の中心合わせが調節しきれない場合があります。その場合、②のように $\alpha$ にやや角度をつけて設置すると、カメラアングルの調節 (☞26ページ参照) がしやすくなります。
- カメラの重量に十分耐えられる場所に取り付けてください。
- 天井板の材質がもろく、天井取付ねじがきかない場合、カメラが落下する恐れがあります。その場合には、埋込型カメラ取付金具WV-Q135 (別売品) を使用してください。





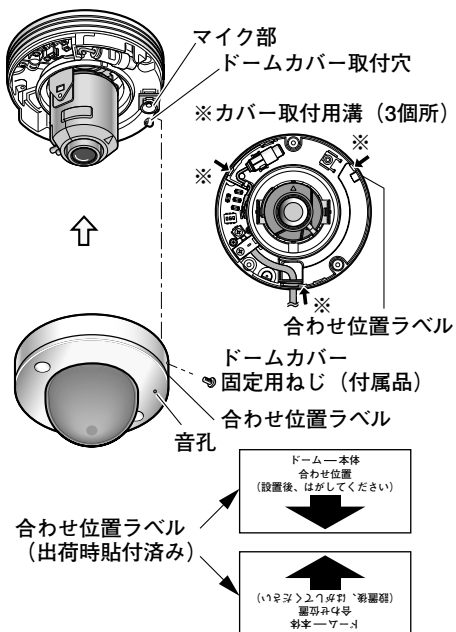
## ●ドームカバーの取り付けかた

※ドームカバーを取り付ける前に内側と外側の保護シートを外してください。

1. カメラ本体のドームカバー取付穴と、ドームカバーの取付穴を合わせます。
  - カメラ本体のカバー取付用溝3箇所（※）を、ドームカバーの突起部3箇所に合わせて差し込み、時計方向に回します。
  - 合わせ位置ラベルの矢印位置を合わせると簡単に行えます。設置後は、はがしてください。

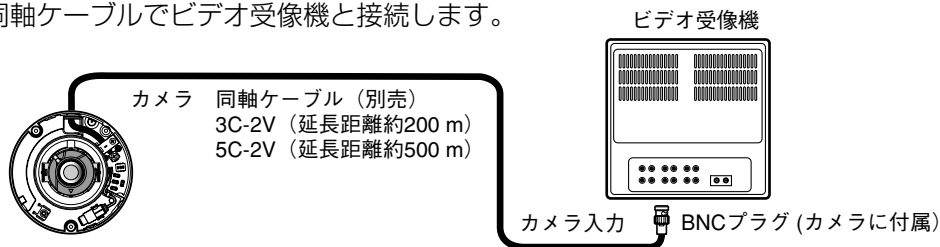
2. ドームカバー取付後、ドームカバー固定用ねじ（付属品）を締め付け、固定します。

- ドームカバーを取りはずす場合は、上記と逆の手順で行います。ドームカバー固定用ねじを取りはずし、反時計方向にまわして取りはずします。（出荷状態では、ねじは取り付けしていません）



## 接続のしかた

同軸ケーブルでビデオ受像機と接続します。



### お願い

- 必ずビデオ受像機の電源を切ってから接続してください。電源を入れた状態でカメラを接続しても、誤接続保護回路が働いてカメラは動作しません。
- 延長距離は、電源ユニットによって異なります。詳しくは、電源ユニットの取扱説明書をご参照ください。

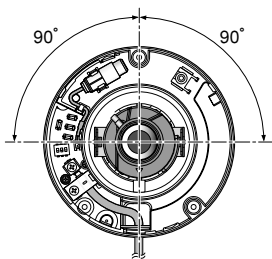
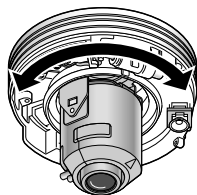
# カメラアングルの調節

## お願い

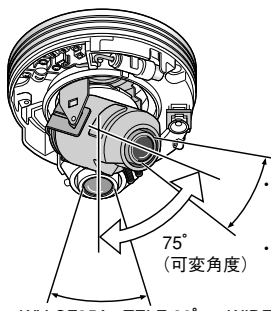
- 調節範囲以上に無理に回すと、故障の原因となります。
- カメラヘッド上の△マークが上向きを示します。調節時の目安にしてください。

## ●水平回転

水平回転が可能です。±90°（範囲180°）



## ●垂直回転



- ・ WV-CF35A  
TELE 28°  
~WIDE 56°
- ・ WV-CF36A  
87° (垂直)

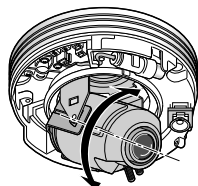
- ・ WV-CF35A : TELE 28° ~WIDE 56°
- ・ WV-CF36A : 87° (垂直)

- WV-CF35Aは、バリフォーカルレンズのため、画角を変えられます。
- 反対方向にも回転しますが、画の傾きが逆転します。このときは調節してください（☞28ページ参照）。

## お願い

水平に近い角度でご使用の場合、ドームカバーの影が写りますのでご注意ください。

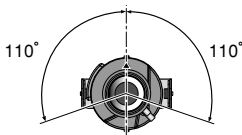
## ●画の傾き調節



カメラヘッドを回し、傾きを調節します。（範囲110°）

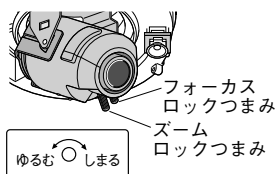
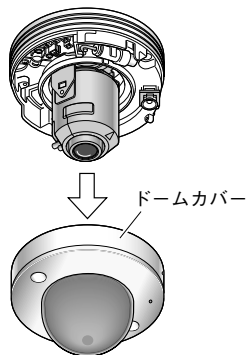
## お願い

上記の水平回転、垂直回転、画の傾き調節それぞれを少しずつ動かし、微調節を繰り返して設定してください。



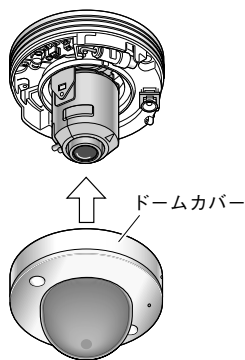
# 画角とフォーカス調節のしかた (WV-CF35Aのみ)

被写体の距離に応じて画角とピントを合わせることができます (WV-CF35Aのみ)。画角とフォーカス調節は、カメラアングルの調節を行うときに同時に行ってください。



1. ドームカバーを本体からはずします (☞25ページ参照)。

2. ①ズームロックつまみをゆるめ、被写体に応じて画角（視野角）を調節します。  
②ズームロックつまみを締め付けます。  
③フォーカスロックつまみをゆるめて調節し、画のピントに合わせます。  
④フォーカスロックつまみを締め付けます。



3. ドームカバーを本体に取り付け、ドームカバー固定用ねじ（付属品）で固定します (☞25ページ参照)。

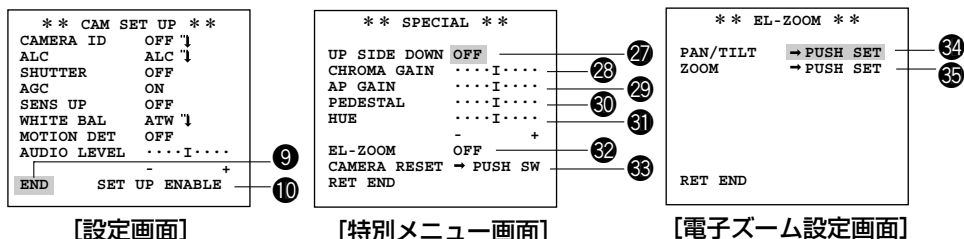
## お願い

ズームを動かすとピントがずれるため、必ず再度ピントを合わせてください。

# カメラの微調節のしかた

## ■カメラの映像信号を微調整する

設置場所（使用環境）に合わせてカメラの映像信号を微調整できます。



1. 設定メニューを表示し、「DISABLE」⑩を「ENABLE」に切り換えます。
2. カーソルを「END」⑨に合わせ、[左]スイッチを先に押したまま[右]スイッチを一緒に約2秒間押し、特別メニュー画面を表示します。

### ●画面の上下を反転できます。

3. カーソルを「UP SIDE DOWN」⑲に合わせ、[左] または [右] スイッチで画面の上下を調整します。
  - ON : 上下を反転します。
  - OFF : 反転しません。

### ●画質を調整できます。

4. カーソルを「CHROMA GAIN」⑳に合わせ、[左] または [右] スイッチで色の濃さを調整します。調整は、ベクトル色度指示器かカラービデオモニタを見ながら行ってください。
  - +方向 : 色が濃くなります
  - 方向 : 色が薄くなります
5. カーソルを「AP GAIN」㉑に合わせ、[左] または [右] スイッチで画質を調整します。調整はカラービデオモニタを見ながら行ってください。
  - +方向 : シャープな画面になります
  - 方向 : ソフトな画面になります
6. カーソルを「PEDESTAL」㉓に合わせ、[左] または [右] スイッチで画面の明るさを調整します。調整は、波形モニタかカラービデオモニタを見ながら行ってください。
  - +方向 : 明るい画面になります
  - 方向 : 暗い画面になります

7. カーソルを「**HUE**」**31**に合わせ、[左] または [右] スイッチで色合いを調整します。調整は、ベクトル色度指示器がカラービデオモニタを見ながら行ってください。

＋方向：肌色が紫色になる場合に調整

－方向：肌色が緑色になる場合に調整

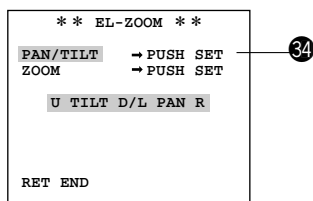
●電子ズームの設定ができます。

8. カーソルを「**EL-ZOOM**」**32**に合わせ、[左] または [右] スイッチで「**ON/OFF**」を切り換えます（工場出荷時の設定は、**OFF**です）。

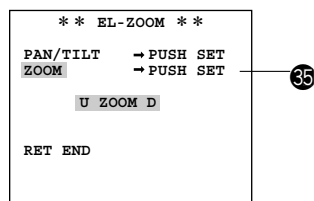
**ON**：電子ズーム機能を使用します。（**手順9**へすすむ）。

**OFF**：電子ズーム機能を使用しません。

9. カーソルを「**EL-ZOOM**」**32**に合わせたままの状態ですべてのスイッチを押し、電子ズーム設定画面を表示します。



【PAN/TILT設定画面】



【ZOOM設定画面】

10. カーソルを「**PAN/TILT**」**34**の「**➡PUSH SET**」に合わせ、[設定] スイッチを押し、PAN/TILT設定画面を表示します。

11. [上] [下] [左] [右] スイッチで、画の向きを変えます（電子ズームで設定した倍率の範囲内）。

[設定] スイッチを押すと、電子ズーム設定画面に戻ります。

12. カーソルを「**ZOOM**」**35**の「**➡PUSH SET**」に合わせ、[設定] スイッチを押し、ZOOM設定画面を表示します。

13. [上] [下] スイッチで、電子ズームの倍率を変え、画角を設定します（倍率は、最大2倍）。

[設定] スイッチを押すと、電子ズーム設定画面に戻ります。

14. 出荷時の設定に戻るときは、カーソルを「**CAMERA RESET**」**33**に合わせ、[左]、[設定]、[右] スイッチを同時に約2秒間押しつづけます。

15. 設定画面に戻るときは「**RET**」、通常の映像画面に戻るときは「**END**」にカーソルを合わせ、[設定] スイッチを押します。

# 仕様

電源		テルック専用カメラ駆動ユニットまたはビデオ受像機よりDC電源供給
消費電流		定電流 310 mA
撮像素子		1/4型 インターライン転送方式CCD
有効画素数		755 (H) × 485 (V)
走査面積		3.59 mm (H) × 2.70 mm (V)
走査方式		2:1インターレス
走査周波数		水平: 15.734 kHz 垂直: 59.94 Hz
同期方式		多重VD同期
解像度		水平: 480本以上 (中心部) 垂直: 350本以上 (中心部)
画角	WV-CF35A	水平: 37° (TELE) ~ 75° (WIDE) 垂直: 28° (TELE) ~ 56° (WIDE)
	WV-CF36A	水平: 111°、垂直: 87°
最低照度		2.0 lx (WIDE端) [電子感度アップ OFF時, AGC ON時]
S/N		50 dB (AGC OFF時)
ダイナミックレンジ		46 dB typ. (SUPER D2 ON時)
映像出力		VS 1.0 V [p-p] / 75 Ω (カメラ駆動ユニットの出力)
モニター出力		VS 1.0 V [p-p] / 75 Ω (RCAピンプラグ)
内蔵マイクロホン		無指向性エレクトレットコンデンサマイクロホン
機能	カメラタイトル	最大16文字表示 (アルファベット, カタカナ, 数字, 記号)
	光量制御	ALC
	SUPER-D2	ONモード/OFFモード
	電子シャッター	OFF、1/100 (フリッカレススイッチで切り換え)
	AGC	ON/OFF
	電子感度アップ	OFF, X2 AUTO, X4 AUTO, X6 AUTO, X10 AUTO, X2 FIX, X4 FIX, X6 FIX, X10 FIX, X16 FIX, X32 FIX,
	ホワイトバランス	ATW/AWC
	モーションディテクター	ON/OFF
	フリッカレス	入/切 (DIP-SW)
	輪郭補正	強/弱 (DIP-SW)
	内蔵マイク	入/切 (DIP-SW)
	電子ズーム	2倍 (PAN/TILT機能付)
	調節角度	PAN角: ±90°、TILT角: ±75°、傾き角: ±110°
使用温度範囲		-10°C ~ +50°C
寸法		幅 φ130 mm 高さ 91 mm ドーム径 φ80 mm
質量		WV-CF35A: 約550 g, WV-CF36A: 約520 g
仕上げ		ドームカバー: 透明色 (クリアー) カバー: 樹脂 グレー色 (マンセルN4.5近似色) 金属ヘアライン加工

# 保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ  
などのご相談は…  
**まず、お買い上げの販売店へ**  
お申し付けください

## ■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、このカラーテレビカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるとき

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

### ●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

### ●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

### ご連絡いただきたい内容

品名	カラーテレビカメラ
品番	WV-CF35A,CF36A
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

## 便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品番	WV-CF35A,CF36A
販売店名	☎ ( ) -		

松下電器産業株式会社

AV&セキュリティビジネスユニット

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410